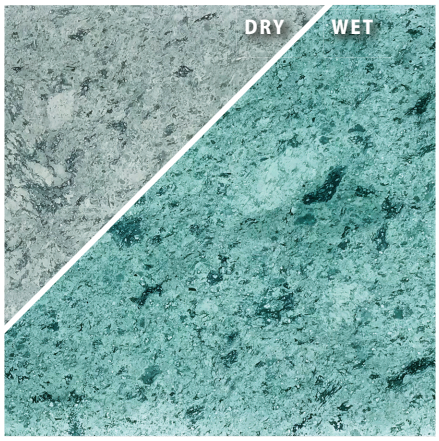
希少天然石

TOWADAISHI
十和田石

中野産業株式会社



濡れ色　やすらぎの青

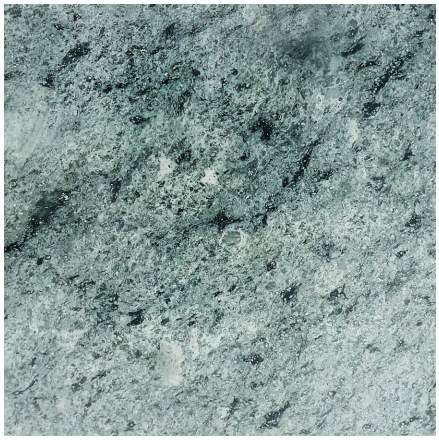
十和田石は水に濡れることで色合いと表情を変え、優しく美しく輝きながら格別な風合いをかもし出します。郷里の十和田湖を思わせるこのコバルトブルーから、十和田石とよばれるようになりました。またその色合いは「やすらぎの青」ともよばれ愛されています。

十和田石の誕生の起源は一千万年前……海底でおきた噴火による火山灰が凝固してできたもので、正式名称を「緑色凝灰岩」といいます。

天然が織りなすその美しいグリーンとブルーは、石に含まれる鉄やその他の金属が、酸化されずに火山灰に閉じ込められたため。

雪の結晶と同じで、一つとして同じ模様にはならなず、また光や水による濡れ具合によっても、表情が変わり、見る人を飽きさせません。

天然石ならではの特徴である、その模様の一部をご紹介します。

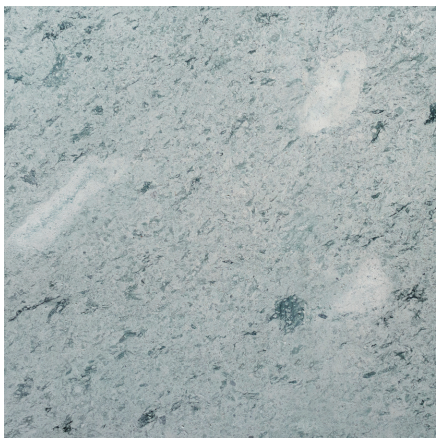


色合い　日本の伝統色“鉄色”

濃い部分には、鉄分が多く含まれます。鉄の色が緑？？と思われるかもしれませんが、伝統ある日本の固有色にも同じく、青みが暗くにぶい青緑色を指して「鉄色（くろがねいろ）」と表されています。

天紋　天然の石継ぎ模様

天紋と呼ばれる雷模様は、十和田石ができる過程で生じた隙間に、他の鉱物が合わさって強く固まってできた模様です。天紋は自然の営みが生み出した「金継ぎ」ならぬ、「石継ぎ模様」であり、十和田石の歴史が感じられる景色といえます。



白紋　調和のカルサイト

部分的に入る白いスポットの紋様は、十和田石の中に石灰石の塊が生じたものです。石灰石が結晶化した「カルサイト」はネガティブなエネルギーをポジティブに変える力があり、対人関係に調和をもたらすといわれます。この白紋にはやすらぎ効果が含まれているかもしれません。

© Nakano Sangyou Co.,Ltd. 2022